

藻場と保全の取り組み (No. 28)

藻場の名称	伊方町塩成、川之浜海岸		
海域(府県)名*1	豊後水道(愛媛県)	エリア名*1	西部海域
藻場の面積	ha 出典:【 () 】		
藻場のタイプ	アマモ場	ガラモ場	アラメ・カジメ場 ワカメ場 その他(クロメ)
藻場の特徴	自然の砂浜、磯がある貴重な浜。		
保全の取り組み名称	藻場の保全(食害生物の除去) ガンガゼの駆除		
実施団体名	瀬戸地区環境保全協議会		
連絡先住所	〒796-0502 愛媛県西宇和郡伊方町三机乙 2989-13		
代表者名	和田 稔治	Email	k-matamoto@jf-yawatahama.or.jp
団体会員数	25名	HP	-
(活動の概要)	磯焼けの要因のひとつであるガンガゼの食害の低減を図るため、海士が素潜りで駆除し個体数の管理を行っている。		
(主な活動内容)	種の供給・再生 調査研究 磯清掃 <u>食害動物駆除</u> 研修会・学習会 他との協同連携 その他()		
(最近の活動実績)	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年12月12日 ガンガゼモニタリング(1名) 平成28年12月15日 ガンガゼ駆除(9名) 平成29年1月31日 ガンガゼモニタリング(1名) 平成29年2月24日 ガンガゼ駆除(9名) 平成29年2月28日 ガンガゼモニタリング(1名) 平成29年3月22日 ガンガゼモニタリング(3名) 		
	 		

関連する生物種等	は希少種
<ul style="list-style-type: none"> ○野鳥: トビ、カモメ、ウミネコ、サギ ○藻場の生き物: サザエ、アワビ、ニナ、ウニ ○海藻(海草): ヒジキ、フノリ、ワカメ、アオサ、クロメ、ガラモ、アマモ ○植物: 	
希少種の特徴等	
希少種は存在しない。	

*1:「瀬戸内海における藻場・干潟分布状況調査」(環境省: H28年~30年) 参照

藻場と保全の取り組み (No. 29)

藻場の名称	伊方町 九町女子鼻		
海域(府県)名*1	豊後水道(愛媛県)	エリア名*1	西部海域
藻場の面積	出典:【 () 】		
藻場のタイプ	アマモ場	ガラモ場	アラメ・カジメ場 ワカメ場 その他(クロメ場)
藻場の特徴	海藻が多く赤ウニ・アワビ等が多く生息している漁場である。		
保全の取り組み名称	藻場の保全(食害生物の除去) ガンガゼの駆除		
実施団体名	町見地区環境保全協議会		
連絡先住所	〒796-0422 愛媛県西宇和郡伊方町二見甲 1251 番地 5		
代表者名	古田 睦	Email	machimi-inoue@md.pikara.ne.jp
団体会員数	23名	HP	-
(活動の概要)	磯焼けの要因の一つであるガンガゼの食害の低減を図るため、海士が素潜りで駆除し個体数の管理を行っている。		
(主な活動内容)	種の供給・再生 調査研究 磯清掃 <u>食害動物駆除</u> 研修会・学習会 他との協同連携 その他()		
(最近の活動実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 29年10月2日 (活動内容) 藻場を保全するためガンガゼの駆除を行っている。 		
	  		

関連する生物種等	は希少種
<ul style="list-style-type: none"> ○野鳥: ○藻場の生き物:アワビ、サザエ ○海藻(海草):クロメ、ヒジキ、ホンダワラ ○植物: 	
希少種の特徴等	
希少種は存在しない。	

*1:「瀬戸内海における藻場・干潟分布状況調査」(環境省:H28年~30年)参照

藻場と保全の取り組み (No. 30)

藻場の名称	佐伯湾		
海域(府県)名*1	豊後水道(大分県)	エリア名*1	
藻場の面積	78ha 出典:【豊後水道南部地区水産環境整備事業 実績台帳】		
藻場のタイプ	アマモ場 <u>ガラモ場</u> <u>アラメ・カジメ場</u> ワカメ場 その他()		
藻場の特徴	佐伯湾はリアス式海岸にあり、背後に山地が控えてあるため、そこから流れてくる栄養分に富んだ淡水により、身質に優れた魚介類が多く生息している。		
保全の取り組み名称	佐伯湾地区藻場保全活動		
実施団体名	佐伯湾地区藻場保全活動組織		
連絡先住所	〒876-1202 大分県佐伯市鶴見大字地松浦206-16		
代表者名	軸丸 幸信	Email	takamasa-shiotsuki@city.saiki.lg.jp
団体会員数	58名	HP	
(活動の概要) ・藻食生物の除去・モニタリング(現状把握・効果調査)・母藻設置 ・岩盤清掃			
(主な活動内容) 種の供給・再生 調査研究 <u>磯清掃</u> <u>食害動物駆除</u> 研修会・学習会 他との協同連携 その他(着底基質(石材)の沈設)			
(最近の活動実績) ・29年11月1日 (活動内容) ・藻食生物の除去(ガンガゼ駆除) 母藻を設置する箇所やガンガゼの大量発生が確認される箇所での駆除作業を実施した。 ・29年11月2日 (活動内容) ・母藻設置 母藻の設置が効果的と考えられる箇所において、クロメ母藻の設置作業を実施した。 ・29年11月3日 (活動内容) ・藻食生物の駆除(ブダイ、メジナ類) 藻類の着生に悪影響を与えていると考えられる箇所において、食害魚類(ブダイ)の駆除作業を実施した。			
  			
<p>写真1. ガンガゼ駆除の様子①</p> <p>写真2. ガンガゼ駆除の様子②</p> <p>写真3. 母藻設置の様子</p>			

*1:「瀬戸内海における藻場・干潟分布状況調査」(環境省:H28年~30年)参照

関連する生物種等	は希少種
<p>○野鳥:未調査</p> <p>○藻場の生き物:メジナ、ベラ、マダコ、ブダイ</p> <p>○海藻(海草):ガラモ、カジメ、アラメ</p> <p>○植物:未調査</p>	
希少種の特徴等	
希少種は存在しない	